

新規モダリティに積極対応！ 川上から川下まで親身に寄り添うCMO受託製造サービス

近年、医薬品業界ではさまざまなモダリティが登場している。住商ファーマインターナショナル株式会社（以下、住商ファーマ）では、そうした新規モダリティに対し、さらなるサービス拡充のため、2023年6月に「新規モダリティ支援グループ」を編成した。同グループが提供するCMO受託製造サービスについて話を聞いた。



新規モダリティ支援グループのみなさん

抗体医薬・エクソソーム・核酸医薬の 3領域で質の高いサービスを提供

住商ファーマは長年にわたり、創薬研究から医薬品製造までをサポートする質の高いサービスを提供してきた。なかでもCMO受託製造は特に重要な事業と位置づけ、低分子医薬品の受託製造は1949年の創業当初から取り組んできたという。

低分子医薬品以外の医薬品モダリティに対しては、1990年代から創業基盤技術の紹介、CMOの選定サポートといった事業を行ってきたが、さらなるサービスの拡充を目指し、「新規モダリティ支援グループ」を編成。メンバーの増強など、体制の整備を進め、現在、①抗体医薬、②エクソソーム、③核酸医薬の3つの領域でサービスを展開している。

技術力の高い海外CDMOと提携し 幅広いニーズに応える

抗体医薬に関しては、ドイツのRentschler Biopharma社をパートナーとして受託製造サービスを行っている。同社は住商ファーマが提携する抗体医薬のCDMOの中でも特に技術力が高く、次世代抗体を含む多種多様な抗体医薬を製造することが可能。抗体産生細胞株構築から抗体医薬製造まで幅広いサービスを請け負っている。住商ファーマは、製造実績も豊富な同社と10年以上にわたり提携しており、“信頼でき、自信をもって勧められるパートナー”としている。

エクソソームの受託製造は、フランスのEVerZom社と提携し、2023年6月より国内向けの紹介を開始した。エクソソーム専門のCDMOは世界的に見ても少ないが、同社は「短時間で大量のエクソソームを製造

できる」というユニークな技術を開発し、既に特許を取得している。本技術はエクソソーム医薬品の実用化に不可欠な大量生産を可能とするもので、エクソソームの普及を強力にサポートできると考えているという。2023年秋には、GMP認定製造設備も稼働予定だ。

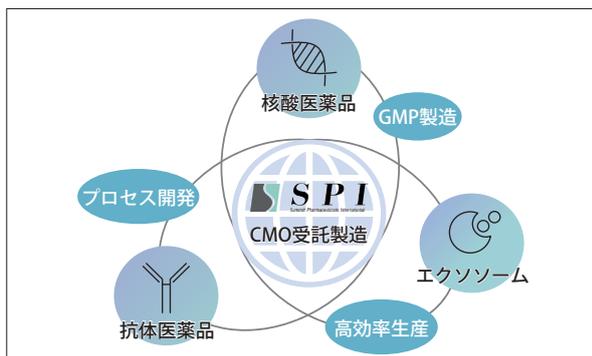
核酸医薬については、欧州最大の核酸医薬CDMOであるドイツのBioSpring社と提携。製造実績が非常に豊富で、200件を超える臨床試験において同社が製造した核酸医薬が利用されている。また、分析技術も優れており、不純物の管理戦略においても多くの知見を持ち、製造プロセス・分析手法・品質管理戦略全般まで、専門のプロジェクトマネージャーが一気通貫してサポートを行う体制が整っている。

何でも相談できる “医薬のスペシャリスト集団”

住商ファーマの強みは、提携先企業の充実度だけではない。メンバーのほとんどが博士号か修士号を取得しており、研究者とも対等に技術的な相談ができると自負する。専門知識や豊富な経験をもつ、“医薬のスペシャリスト集団”だからこそ、提携先企業と深い関係性を構築することができ、それをもとに顧客にとって最適な提案やサポートができるというわけだ。

また、商社ならではのグローバルなネットワークを活用した情報提供ができる点や、技術的な内容も含めたさまざまな相談に対応することなども顧客から喜ばれているという。

「創薬研究から製造、川上から川下まで常にお客様の隣にいる。そんなパートナーでありたい」と語る住商ファーマは、今後も多様化する最先端のモダリティに積極的に対応し、サービスを拡充していく方針だ。



住商ファーマインターナショナル株式会社

創業支援部 新規モダリティ支援グループ

〒100-0003

東京都千代田区一ツ橋一丁目2番2号 住友商事竹橋ビル12階

TEL : 03-5220-1560 FAX : 03-5220-1501

Email : alliance@summitpharma.co.jp

住商ファーマ 創業支援